

第50回 岡大サイエンスカフェ



ヒトの体のみかた — 科学的な解析はどう進んできたか —

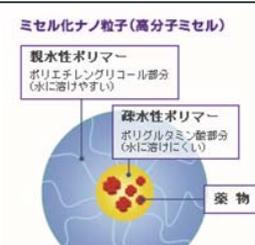
講師 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（薬）
教授 狩野 光伸

サイエンス(科学)は、なぜこれほどまでに注目されているのでしょうか。科学は、これまでヒトが感じてきた困難に対して、挑戦し、それを乗り越えるための有効な方法として捉えられています。では、なぜ広く有効だと捉えられたのでしょうか。また、どんな条件が満たされていけば「科学的」といえるのでしょうか。あるいは、科学から得られる「結論」というのは、どの程度、確実なものなのでしょうか。

医療は、ヒトを感じる「困難」がたくさん詰まった領域です。例えば、がんにかかったとき、効く薬があるかどうか、いかがでしょう。膵がんなどは手術できないときは薬を使うしかなくなるのですが、効かない理由はどこにあるか、ナノテクノロジーという新しい技術を使って探ってきました。この成果もお話します。



ヒト膵がん組織



ミセル化ナノ粒子(高分子ミセル)
親水性ポリマー
ポリエチレングリコール部分
(水に溶けやすい)
疎水性ポリマー
ポリグルタミン酸部分
(水に溶けにくい)
薬物
20 - 100 nm
ナノ薬剤



TGF-β阻害 (軽度)
ナノ粒子漏出
病巣の血管を知り
血管の改築をする



膵がんにも奏功
血管改築あり

参加者募集

- ◆開催日時
平成27年8月5日(水) 午後6:00~7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館 2階
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
TEL :086-251-7112 FAX :086-251-8467
E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u.net/renkei/contents/04_04.html
- ◆締め切り
平成27年7月31日(金) 午後5時
- ◆参加費
無料
- ◆問い合わせ先
研究推進産学官連携機構 村上・松田
TEL: 086-251-7112



本催しは岡山県生涯学習大学連携講座として登録されております

社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも